



2025年2月期第3四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス

(3063)

2025年1月14日



会社概要



会社名	株式会社ジェイグループホールディングス
本社所在地	名古屋市中区栄三丁目4番28号
設立	1997年3月3日
代表者	新田二郎(代表取締役会長) 中川晃成(代表取締役社長)
資本金	45百万円(2024年8月末日現在)
従業員数	グループ計1,509名 ※内正社員数402名(2024年8月末日現在)

子会社

株式会社ジェイフィールド
株式会社ボカディレクション
株式会社かわ屋インターナショナル
株式会社かわ屋東京
株式会社ジェイアセット
株式会社ジェイキャスト
NEW FIELD NEW YORK.LLC.

飲食サービス業を中心に関連事業を展開

当社グループは食文化を主軸とした総合サービス企業を目指し、フードサービスを中心に飲食事業、不動産事業、およびその他関連事業を展開しております。



目次

1. 連結決算概要

サマリー	5
連結損益計算書概要	6
連結貸借対照表概要	7
セグメント別業績概況	8
店舗数の推移	9
店舗ポートフォリオの改善	10
既存店前年比(売上・客数・客単価)	11
飲食関連業態の収益性	12
収益構造の改善	13

2. トピックス

今後、展開していく事業	15
上半期のリニューアル店舗(ラグジュアリー業態)	16
下半期の新規出店	17
大型修繕	19
フェア・イベントの実施(11月までに実施の主なフェア)	20
フェア・イベントの実施(12月開催の主なフェア)	21
新たな取り組み	22
資産の流動化と事業の整理	24
今期の業績見通し	25
株主還元について	26
テレビ等の放映実績	27
SDG's	28





1. 連結決算概要



1

業績は増収増益。営業利益・経常利益・当期純利益共に、同期間比較で上場後の最高益を達成

営業利益+285百万円と前期比+134百万と大幅に増加

2

既存店売上高前期比105.6%

コロナ禍が空けて一巡した以降も売上は順調

3

M&Aの実施

東京都神田エリアを中心に、「肉バル」「カフェ」業態を7店舗展開する会社の株式を取得
(2024年12月9日にリリース済)

4

高速道路事業の第3の拠点をスタート

2024年10月1日より、新東名高速道路「清水PA」内にて臨時売店をスタート
(グランドオープンは、2024年12月19日)

連結損益計算書概要



売上高: 7,930百万円、営業利益: 285百万円、純利益: 529百万円

連結売上高は前年対比103.5%の増収となり、コロナ禍が終息した前期より増加した。営業利益、経常利益、当期純利益いずれも、上場後最高益を達成。

(百万円)

	2024年2月期 第3四半期		2025年2月期 第3四半期		前年同期比 (%)	
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)		
売上高	7,660	100.0	7,930 ①	100.0	103.5	① コロナ終息により増加した前期より、さらに103.5%(前期比)の増加。
売上原価	2,552	33.3	2,586	32.6	101.4	
売上総利益	5,108	66.7	5,343	67.4	104.6	② 増収に応じて、売上原価、販売管理費も増加するも、営業利益は134百万円改善し、前年比188.8%の285百万円となる。
販売管理費	4,956	64.7	5,057	63.8	102.0	
営業利益	151	2.0	285 ②	3.6	188.8	③ 直営店舗の立ち退きに伴う、損失補填等により328百万円計上。
営業外収益	75	1.0	23	0.3	30.6	
営業外費用	66	0.9	46	0.6	69.8	④ 営業利益、経常利益、当期純利益ともに上場以来最高益を計上。
経常利益	160	2.1	262	3.3	163.3	
特別利益	80	1.1	331 ③	4.2	413.8	
特別損失	105	1.4	6	0.1	5.7	
税引前当期純利益	135	1.8	588	7.4	433.4	
当期純利益	150	2.0	529 ④	6.7	351.0	

連結貸借対照表概要



(百万円)

	2024年2月期 期末	2025年2月期 第3四半期		2024年2月期 期末	2025年2月期 第3四半期
資産の部			負債の部		
流動資産	1,990	2,366	流動負債	1,612	1,528
現金及び預金	1,264	1,620	買掛金	264	312
売掛金	346	429	短期借入金 ※1	464	466
棚卸資産	106	99	その他	882	750
その他	272	217	固定負債	5,941	5,857
固定資産	7,158	7,144	長期借入金 ※2	5,116	5,024
有形固定資産	5,890	5,858	その他	824	832
建物及び構築物	2,072	2,021	負債合計	7,553	7,385
土地	3,620	3,620	純資産の部		
その他	197	215	株主資本	1,612	2,119
無形固定資産	298	298	資本金	85	45
投資その他の資産	969	988	資本剰余金	4,595	1,627
繰延資産	0	-	利益剰余金	△2,992	522
資産合計	9,149	9,511	自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△65	△51
			新株予約権	6	3
			非支配株主持分	41	56
			純資産合計	1,595	2,126
			負債純資産合計	9,149	9,511

① 業績好調による営業利益の増加に加え、直営店舗の立ち退きに伴う、損失補填等により特別利益328百万計上したことにより増加。

② 借入金返済等を進めたことにより、83百万円減少。

③ 株主総会決議により10百万に減資。その後、新株予約権の行使により45百万円に増加。

④ 財務体質の健全化を図るため、今期初めに、その他資本剰余金を3,020百万減少させ、減少させた資本剰余金の額を繰越利益剰余金に振替。

⑤ 当期利益および新株予約権の行使などにより530百万円増加。

※1：一年以内返済予定長期借入金を含む

※2：資本性劣後ローンを含む

セグメント別業績概況



飲食事業

コロナ禍が終息した前期より、更に売上を伸ばすことができた事などにより、増収増益。

売上高	: 7,435百万円	前年比	103.8%
営業利益	: 923百万円	前年差	+158百万円

不動産事業

自社保有の商業ビル等のテナント契約数が増加したことにより、増収となる。
(注:グループ内セグメント間取引を除いています。)

売上高	: 314百万円	前年比	108.9%
営業利益	: 68百万円	前年差	▲1百万円

その他

ブライダル、卸売、人材派遣、サウナ等の事業を運営。
外部への人材派遣を5月末で終了したことにより減収するも、営業利益は改善

売上高	: 194百万円	前年比	68.2%
営業利益	: △81百万円	前年差	+1百万円

店舗数の推移



期間中の新規出店0店舗(FC1店舗)・業態転換2店舗・閉店9店舗となり

2025年第3四半期末時点で

56業態、103店舗体制となる



コロナ禍に取り組んできたポートフォリオの変更方針

大型店舗→小型店舗	都心店舗→郊外店舗	総合業態→専門業態
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 脱大宴会依存 ✓ 友人・家族ら少人数での利用 ✓ 投資効率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 住宅街での日常使い需要に対応 ✓ 繁華街より安価な家賃 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 脱総合居酒屋 ✓ 脱酒類業態 ✓ 目的来店促進

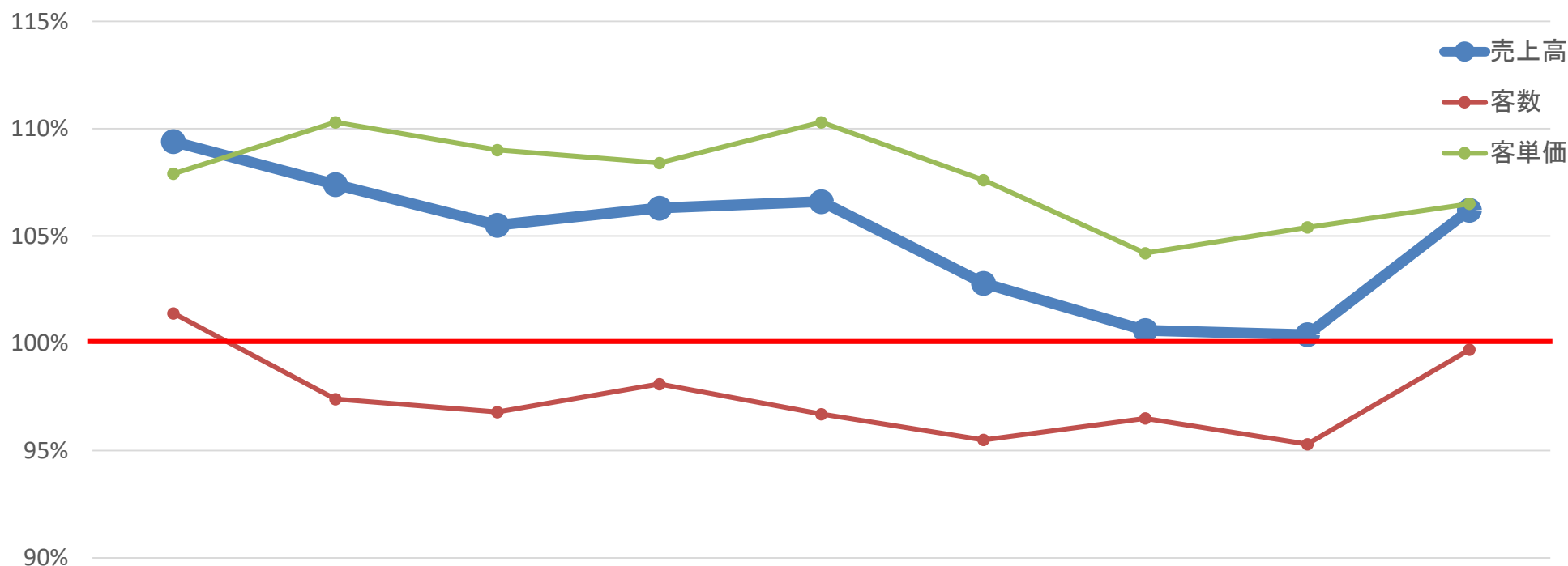
アフターコロナに対応するため戦略的に新店・リニューアル・閉店を実施

	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	合計 (21年2月期 ~24年2月期)	2025年2月期	総合計
閉店	14店	21店	16店	11店	62店	9店	71店
出店	16店	8店	4店	4店	32店	0店	32店
業態転換	9店	12店	7店	9店	37店	2店	39店

前期までに、閉店・業態転換の主なものは実施済み。

今期は現存店舗の修繕を中心に行い、既存店舗のブラッシュアップを実施中。

既存店前年対比(売上・客数・客単価)



	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	今期累計
● 売上高	109.4%	107.4%	105.5%	106.3%	106.6%	102.8%	100.6%	100.4%	106.2%	105.6%
● 客数	101.4%	97.4%	96.8%	98.1%	96.7%	95.5%	96.5%	95.3%	99.7%	98.0%
● 客単価	107.9%	110.3%	109.0%	108.4%	110.3%	107.6%	104.2%	105.4%	106.5%	107.7%

売上 : 第3四半期終了時点で、105.6%と前年を大きく上回っている。

客数 : 前期がコロナ後バブルだった影響もあり、客数は前年を少し下回っていたが、11月に100%近くまで回復。

8月、9月は台風の影響で客数が下がっている。台風の影響がなければ客数も回復傾向だった。

10月は残暑の影響で、鍋業態等の客数が伸び悩んだが、11月に回復した。

客単価 : コロナ終息後は、安定して前年を超えて、上半期平均で「107.7%」まで伸びた。

飲食関連業態の収益性



居酒屋及び専門業態は高収益体質に改善

「ラグジュアリー業態」は店舗は少ないが、最も高収益業態

(百万円)

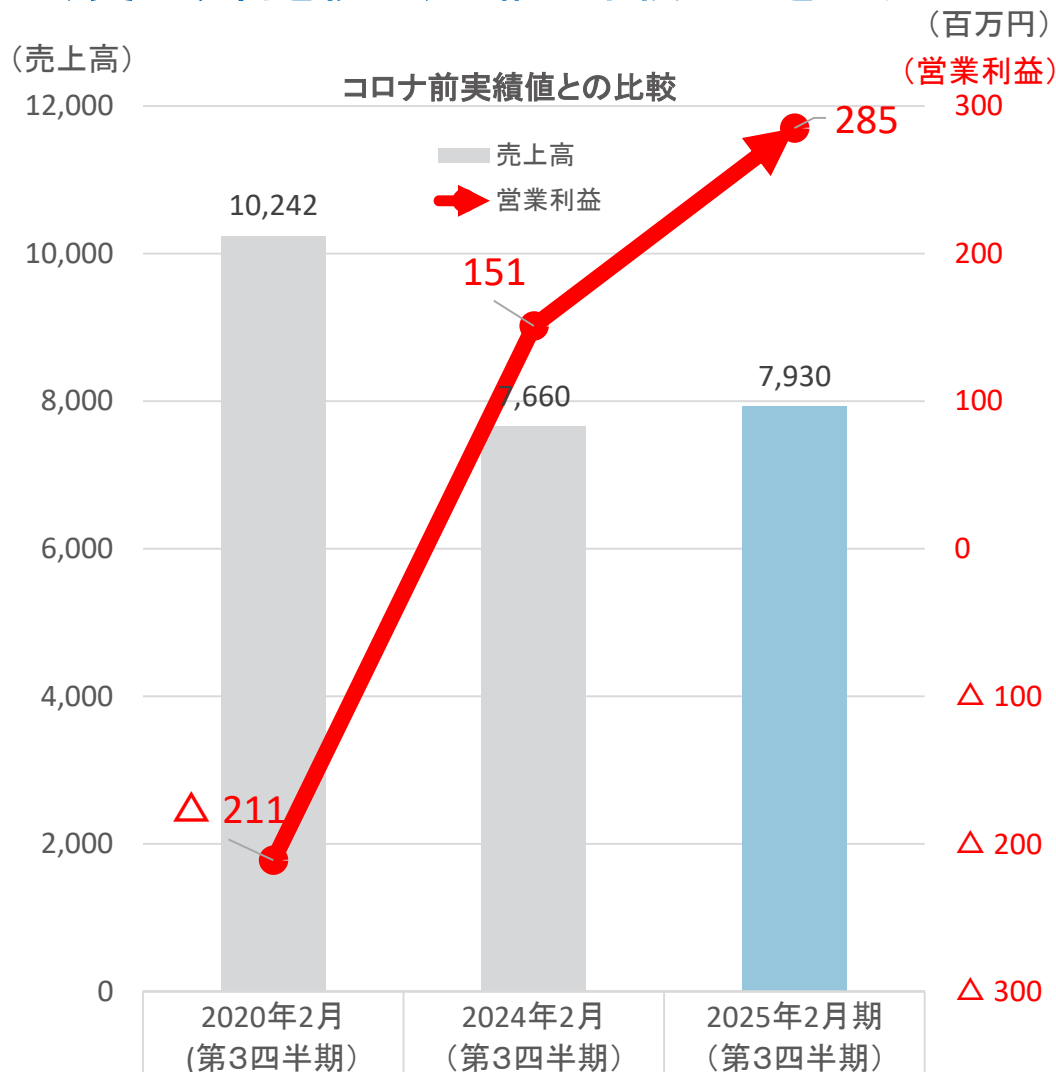
業態		ジャンル	売上高	営業利益	営業利益率	ブランド	
居酒屋業態	テーマ型	焼酎 日本酒 九州料理	1,686	277	16.5%	芋蔵 光蔵 吟醸マグロ	きじょうもん きばくもん
	総合型		1,791	334	18.7%	てしごと家 ほっこり 新九	えどわん 三柘三蔵 跳魚 等
専門業態		寿司 焼肉 焼き鳥	700	103	14.8%	寿司と串とわたくし 寿司と天ぷらとわたくし かわ屋	燦家 焼肉ゆたか 頂
ラグジュアリー業態		パーティー	154	31	20.5%	THE ONE AND ONLY THE ONE AND ONLY ROOF TOP SAKAE Party Restaurant REGOLITH	
その他		バル 高速道路 ノンアル サウナ 等	3,026	354	11.7%		

収益構造の改善



前期にコロナ前実績から大幅に改善したが、今期は、更に改善を続け、大幅な業績向上を達成

経費については、物価高の影響や、給与水準の向上を図りながらも、コストコントロールを行い、原価率・人件費率を抑制。
 販管費については、売上増加に伴う、固定費率の減少や、有効な広告宣伝等により減少。



売上高	10,242	7,660	7,930
営業利益	△ 211	151	285
営業利益率	—	2.0%	3.6%

主な経費の前期比較

- ・原価率 $\Delta 0.7\%$ メニューの見直し等により、原価率は減少となった。
- ・人件費率 $\Delta 0.1\%$ 給与水準を上げたが、作業の効率化、集中加工場の本格稼働、ワークスケジュール管理の徹底等により、人件費率は減少となった。
- ・販管費率 $\Delta 0.8\%$ (人件費除く) (広告宣伝費 $\Delta 0.2\%$) (地代家賃 $\Delta 0.3\%$) (水道光熱費 $\Delta 0.1\%$)

売上増加による、固定費用の比率の低下。有効的な広告宣伝費の利用等による販管費率の減少。



2. トピックス



今後、展開していく事業

今後、「直営店舗」「FC事業」「高速道路の運営受託」を軸に展開していく

I、直営店舗で展開する業態

「寿司居酒屋」

- 現在6店舗を展開
- 各店とも業績好調のため、出店を加速
(2024年12月に名古屋市金山に新店OPEN)

寿司と串とわたくし 寿司と天ぷらとわたくし

SUSHI TO KUSHI TO WATAKUSHI

SUSHI TO TENPURA TO WATAKUSHI



「日本酒業態」

- 現在7店舗を展開
- セルフ利き酒が人気！
- 社内マイスター制度にて日本酒のスペシャリストを育成中
(2025年2月に京都市に新店OPEN予定)



II、「かわ屋 FC加盟店増加」

現在、直営6店舗、FC加盟店9店舗を展開
(2024年11月現在 合計15店舗)
(2024年10月石川県金沢市
2024年12月名古屋市金山新店OPEN)



III、「高速道路」

- 大津SA、川島ハイウェイオアシス内フードコートに続く、
第3の拠点を、2024年12月に
新東名高速道路「清水PA」内売店OPEN



上半期のリニューアル店舗（ラグジュアリー業態）



ラグジュアリーなパーティースペースの業態を強化
「THE ONE AND ONLY」「ROOF TOP」に続く3店舗目を出店

Party Restaurant REGOLITH

名古屋駅からのアクセス抜群の「名古屋ルーセントタワー」1Fに、ブライダル2次会はもちろん、企業様パーティー、会社行事、各種イベントに最適。
最新の音響システム、大型プロジェクター、新郎新婦控室完備。
天高ガラス張りのカジュアルモダンな空間で素敵なパーティーを！

30～100名まで貸切可。

オープン日:2024年6月30日
店舗サイズ:56.7坪
席数:65席(立食は100名まで可)
プラン:5,000円～10,000円/人



下半期の新規出店①

コロナ禍を経て、高速道路事業以外の出店を控えていたが、
今後、積極的に直営店の飲食店の出店を加速（高速道路事業も引き続き案件を増やしていく）

寿司と天ぷらとわたくし 金山東口店

市場から仕入れた四季折々の魚介。赤酢を効かせたしゃり
で握る寿司。米粉で仕上げた
サクサク天ぷらと気の利いた
酒の肴をお楽しみいただける
寿司居酒屋です。

オープン日:2024年12月26日
店舗サイズ:30.7坪
席数:50席

価格帯:4,500円



かわ屋 金山東口店

「たかが焼き鳥 されど…」
6日間かけてじっくり仕上げる
本場博多の「名代とり皮」

オープン日:2024年12月26日
店舗サイズ:22.0坪
席数:36席

価格帯:4,000円



下半期の新規出店②

コロナ禍を経て、高速道路事業以外の出店を控えていたが、
今後、積極的に直営店の飲食店の出店を加速（高速道路事業も引き続き案件を増やしていく）

◎新東名高速道路「清水PA」内売店業務を受託
(2024年12月19日オープン)

「東海道 駿河楽市」

東海道五十三次のうち 22 宿は静岡にあり。さらに静岡のど真ん中、駿河国。昔も今も旅の中心地は駿河でした。はるか昔から旅人をもてなしてきたこの土地で「宿場町の楽市」を立ち上げます。

「しぞ〜か物産展」

清水港のマグロ、由比港の桜エビ、用宗港のシラスなどの海の幸はもちろん、豊かな大地に育まれる農産物まで。地元愛に溢れた地域密着の品揃えは、まるで道の駅。地元のみんで作る、清水の魅力をつっぷり伝える物産展です。

◎京都市内に1店舗を
2025年2月に出店予定
業態:(仮)吟醸マグロ

常時こだわりの80銘柄の日本酒を自由に飲み比べできるお店。日本酒に合う名物のマグロ刺身盛り合わせなど一人前からご注文できます。



大型修繕



既存店の大規模な修繕を行い、人気と利便性の向上を目指す

(例1) 「掘りごたつ」を「テーブル席」に変更。

銀座我歩



三枿三蔵
(宮城県仙台市)



(例2) 日本酒や焼酎のセルフ飲み放題用の専用カウンターやスペースの増設。

吟醸マグロ
品川店



芋蔵 銀座店



フェア・イベントの実施(11月までに実施の主なフェア)

全社横断、業態横断の各種フェア・イベントを実施し集客アップを目指す

5月～7月
日本酒業態
雲丹・牡蠣フェア



6月
寿司業態
いわしフェア



6月～7月
芋蕨業態
北部九州フェア



7月
日本酒・九州
寿司業態
うなぎフェア



7月～8月中旬
九州業態
うまかつと祭りフェア



7月～8月
カフェ業態
ピーチフェア



8月～9月
寿司業態
太刀魚フェア



9月4日～6日
かわ屋業態
串の日



10月1日
日本酒業態
日本酒の日



10月～11月
芋蕨業態
うまかもんフェア



10月～11月
九州業態
ちかっぱ祭



10月31日
11月1日
芋蕨業態
焼酎の日



フェア・イベントの実施(12月開催の主なフェア)



全社横断、業態横断の各種フェア・イベントを実施し集客アップを目指す

11月~12月
寿司業態
天然ふぐフェア

12月
カフェ業態
洋梨フェア

12月~1月
九州業態
おごっつおう祭

12月~2月
日本酒業態
寒ぶりフェア

天然ふぐ

- 天然ふぐのでっさ 780円
- 天然ふぐの唐揚げ 880円
- 天然ふぐの握り 天然ふぐの炙り握り 各 300円
- 天然ふぐの味噌汁 480円
- 季節の水菓子 480円

ラ・フランス La France

- 洋梨のクロップル 1200円
- 洋梨のレトロプリン 1000円
- 洋梨のバスチーズケーキ 1300円
- バスチーズケーキ 3種盛り合わせプレート 1800円
- DRINK SET + 450円

おごっつおう祭

- 九条葱の黒七味巻き串 470円
- 春菊とえのき巻き串 470円
- 大海老の塩レモン焼き 520円
- 季節限定 シナモンりんご耐ハイ 680円
- 季節限定 ワンダラー 630円

寒ぶり

- 寒ぶりと厳選マグロの合い盛り(本マグロ入り)
- 2名様盛り 1,480円
- 3名様盛り 2,230円
- 4名様盛り 2,960円

新たな取り組み①



商品のクオリティアップ・サービスレベルの向上・人材強化を、更に推し進めるための施策

①集中加工場

- 仕込みに時間がかかるものや、特殊な調理機器が必要な食材を、まとめて加工し、商品の差別化、品質の安定、原価抑制、労働環境改善を行う。
- 一括購入した魚介等の一次加工を行い、原価率を抑制する。
- 業態ごとの共通食材を増やし、食材のプラットフォーム化を進める。



②マイスター制度

「日本酒アドバイザー」「焼酎アテンダー」の2つのマイスター制度を作り、主力業態のサービス力を向上し、お客様に日本酒・焼酎の魅力をお伝えできる人材を育成し、生産者様とお客様をつなぐアンバサダーとしての人材を育てる。
→2024年11月末現在30人が活躍中。

③外国人採用

今後の更なる店舗展開や、インバウンド強化のため、外国人の採用を強化。
→2024年6月末までに17人をフィリピンから採用。更に採用を進める予定。



新たな取り組み②



商品のクオリティアップ・サービスレベルの向上・人材強化を、更に推し進めるための施策

④外部研修等の実施

- **鹿児島焼酎蔵研修**
酒造にて、芋の洗い方から始まる焼酎の製造法、別の蒸留所においては、ウスキーの製造・蒸留・貯蔵までの流れを学ぶ研修を実施。
- **山形ワイナリー研修**
国産ナチュラルワインのパイオニア的なワイナリーにおいて、製造方法を学び、実際に葡萄の手除梗や破碎を体験。



資産の流動化と事業の整理



保有する商業ビル・レジデンスを流動化及び有効活用を進める

現在保有不動産(5件)



jG金山



ジェイチル名駅



ジュール則武



J-Group 本社・新九



EXIT NISHIKI

上記不動産(5件)の2024年2月期末簿価は4,758百万円。
これらの不動産に付随する有利子負債は2,451百万円であります。
今後、これらの不動産を流動化させていくことで、財務体質の改善を進めていきます。

過去売買実績

年月	売買	不動産
2019年2月	売却	J-Growth 大曾根
2020年1月	売却	G-SEVENS 刈谷
2020年7月	売却	ダイヤモンドウェイ
2020年7月	売却	物流センター
2020年7月	売却	ジュール広川
2021年4月	取得	J-Group本社ビル
2021年9月	売却	ジュール亀島

海外店舗の撤退

2022年2月に連結子会社であるNEWFIELD HONOLULU,INC(ハワイ)を売却
2023年6月にKAKEHASHI, S.L.U.(バルセロナ)を売却

今期の業績見通し



(百万円)

	2024年2月期 通期実績	2025年2月期 業績予想 (当初)	2025年2月期 業績予想 (上方修正)	前年同期比 (%)
売上高	10,433	10,550	10,600	101.6%
営業利益	309	350	410	132.3%
経常利益	305	315	410	134.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	247	265	435	175.9%
配当金	中間 無配 期末 3.0円	中間 2.0円 期末 2.0円	中間 2.0円 期末 2.0円	

株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、
より多くの皆様に事業への一層のご理解をいただくことを目的とし、
株主優待制度は引き続き実施いたします。

また、2024年6月以降「猿caféブレンド」を
「レインフォレストアライアンス認証コーヒー」に変更いたしました。



所有株式数	贈呈内容
100株以上200株未満	株主優待御食事券2,000円分(1,000円券×2枚)を年2回
200株以上600株未満	株主優待御食事券4,000円分(1,000円券×4枚)を年2回
600株以上1,000株未満	株主優待御食事券8,000円分(1,000円券×8枚)を年2回
1,000株以上	株主優待御食事券12,000円分(1,000円券×12枚)を年2回

代替商品のご案内

➤ 4,000円コース

- 猿Cafeブレンド
- 新九の紫(焼酎)720ml
- カタログギフトA

➤ 8,000円コース

- 本場さつまあげ大盛セット
- 新九の紫(焼酎)1800ml
- カタログギフトB

➤ 12,000円コース

- 星空の黒牛焼肉
- 愛知みかわ豚しゃぶしゃぶ・生ハンバーグセット
- カタログギフトC



テレビ等の放映実績



2023年9月以降のテレビ、ラジオ等の放映実績を抜粋

ジャンル	放映日	番組名	店舗名	概要
テレビ ラジオ	9/13	ひまわり11	寿司と天ぷらとわたくし藤が丘店	地域の食に関する魅力を発信する
	9/13	朝日新聞	焼肉ゆたか	TBSドラマ「VIVANT」のロケ地使用
	11/8	めざましテレビ	MouMouCafeアスナル金山店	ボンボンチーズケーキの紹介
	11/18	ぐっさん家	Private Sauna EXIT	サウナについて
	11/29	スイッチ	ただハンバーグが食べたい名駅店	ハンバーグ
	12月中旬	ZIP-FM	かわしまファーマーズ	12月開始の味噌タンメンの取材
	12/12	テレビ愛知	光蔵栄	SAKETOMO
	1月上旬	BS日テレ	EXITサウナ	食事前に代謝を高める～辛ウまい飯を食べる
	1/2	三重テレビ	芋蔵名駅店	芋蔵の料理を楽しみながら2023シーズンを振り返る
	3/26	読売テレビ	名古屋めし食堂丸八名古屋店	名古屋名物を提供するお店が4店舗集まっていることがとても魅力的
	5/9	千原ジュニアのへべレケ	てしごと家名駅	千原ジュニアさんが名古屋の名物居酒屋を紹介
	1/2	ドラゴンズ特番	ほっこり広小路	
雑誌	9/29	第三文明	で一もん	
	11/30	東海Walker特別編	Private Sauna EXIT	「サウナ&スーパー銭湯&日帰り温泉MOOK」
	2月	ぴあMOOK中部	お勝手たん	深夜の名酒場
ネット	11/16	YouTube	Private Sauna EXIT	【ESPOIR-TRIBE-エスポワール・ライブ】
	3月～	NET	うな匠AKIBA	「UBER URBANZ秋葉原」高級マンションの紹介動画
	7/29	Umami bites	うな匠AKIBA	外国人旅行者用サイトに、うなぎ料理専門店として紹介

主なサステナビリティ活動

障害者活躍（アート雇用）

愛知県の呼びかけに応える形で参加する社会貢献事業のひとつが「アート雇用」です。アート雇用とは、在宅または作業所の利用者が会社と雇用契約を結び、在宅で創作活動を行い、作品を雇用企業に提出する雇用形態です。愛知県が全国に先駆けてスタートしました。

弊社では2018年から奥野誠也さんという作家をアート雇用しています。



本社においての内装装飾として活用されている他、神戸市内の「The Oyster Bar」にて常設展示されています。

排ガス削減

店舗への商品配送回数を、週6回から5回（17%減少）に減らすことにより、CO2排出量を削減。



kuradashi

大津SAにてフードロス削減企業の「kuradashi」、初の常設実店舗を運営。



ダイバーシティ他

- ・「フレキシブルワーカー制度」導入
- ・「社内人材育成プログラム
マイスター制度」導入
- ・「男性育休取得率 33.3%」
- ・「ストック年次有給制度」導入
- ・外国人の採用強化

環境配慮商品への切替

株主優待代替品として好評の「猿caféブレンドコーヒー」を地球環境にやさしく、生産地域や労働者の社会福祉にも貢献する生産基準を厳格に守って生産された「**レインフォレストアライアンス認証コーヒー**」に変更いたしました。



【 I Rに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL : 052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や

債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、

事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。